

令和4年度（2022年度）第2回後志地域いじめ問題等対策連絡協議会

後志地域いじめ問題等対策連絡協議会事務局（後志教育局）

令和5年2月9日（木）、管内における生徒指導上の諸問題への対策の推進を図ることを目的に、第2回後志地域いじめ問題等対策連絡協議会を開催しました。本協議会では、今年度の取組の重点に基づき、実践発表や協議を通して成果と課題について意見交流を行いました。



◆ いじめや不登校に向けた後志管内の取組 ◆

重点①いじめの認知に対する理解を深める取組及び組織による対策の推進 （小樽市教育委員会）

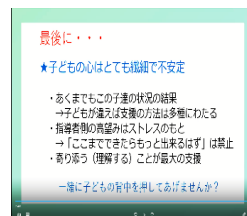
- ・いじめ防止キャンペーンを年2回開催
- ・「いじめ問題の対応について」と題し、文部科学省の専門官の講話を実施
- ・小樽市いじめ問題対策連絡協議会にて、いじめの認知について共有、連携の推進
- ・いじめの認知についての共通理解を図るための教育局と連携したオンデマンド研修を実施
- ・各地区における児童生徒が主体となった「いじめ防止サミット」の実施

学校、家庭、地域、行政が一体となった地域総掛かりの取組へ

実践発表

重点②不登校児童生徒や保護者が社会から孤立しない取組の推進 （蘭越町教育委員会）

- ・気軽に相談でき、多様な支援が受けられることができる場、「談」の開設
- ・蘭越町、倶知安町、真狩村と複数の市町村に関わっての支援
- ・義務教育と高等学校教育の連携による登校に向けた取組



児童生徒に寄り添う（理解する）ことが最大の支援につながる

◆ 構成員からの意見 ◆

- いじめの問題は、学校だけのものではないので、家庭や関係機関と連携し、児童生徒の心のケアに努めることが大切である。
- 不登校となった児童生徒とPTA役員が話をすることで、登校につながったケースもある。児童生徒はもちろん、保護者も孤立させないよう、学校だけではなく、関係機関が連携した支援を行う必要がある。
- 実践発表にあったような、児童生徒にとって安心できる場所や安心できる人を増やせるよう、それぞれの立場でできることをやっていきたい。



協議

まとめ

いじめや不登校の問題の解決に向けて、関係機関の強みを生かした対応をするためには、関わる大人がそれぞれ一人一人の困り感に寄り添い、誰がどんな関わりをすることが望ましいのかを考えるとともに、顔が分かる関係を築き、それぞれの所属の取組の情報共有をすることが大切です。